

✦ ✦
卒業後，秋田を離れて
秋田を思うこと

第3回共同教育研究会

平成26年11月15日(土)

東京都千代田区 日本教育会館

秋田高専同窓会 名誉会長

電気工学科 1期卒

三浦正悦



八郎瀧干陸式記念切手

1964年発行

消印は土崎郵便局

✧同窓会メトロポリタン支部の発足

- ・ 発会式：2014年6月21日 秋葉原で開催
- ・ メトロポリタン支部を発足：
- ・ 支部の活動：昭和44年3月の「秋田高専同窓会設立宣言」の趣旨に沿うものとするが
当面のメトロポリタン支部の活動は、東京地区における同窓会会員間の縦と横の連携を取る機会を設けることとし、具体的には年に1回程度の懇親会の開催を主とする

✦同窓会メトロポリタン支部の発足

- ・ メトロポリタン支部に関する問い合わせ先：
メトロポリタン支部幹事グループ代表：

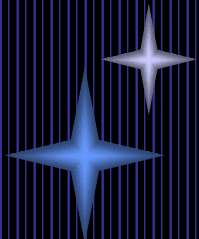
三浦正悦

- ・ 支部長・会計・・・

という役職は当面の間は保留

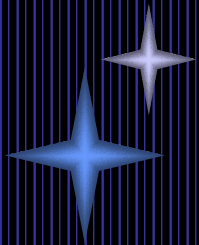
じっくりと時間をかけて、

支部として何をやりたいのか 探していく



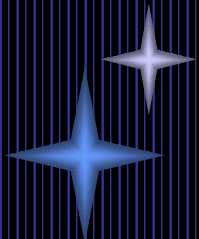
閑話休題

卒業後
秋田を離れて秋田を思うこと



出来れば、秋田に戻りたかった

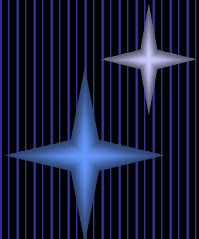
- ・ 父親は県内に居住
- ・ 卒業時、県内に就職することを父親は望んだが、適職がなく、県外へ適職があれば戻ると
- ・ 妻も飯島の出身
- ・ しかし、定年まで もどる機会はなかった



もどらないと決断

- ・ 60歳の時、父親に「戻らない」と
- ・ 理由：80歳を超えた父親にとって、私が戻れば安心。しかし、さらに20年後を考える
- ・ 20年後、私が80歳を超えた時、私の息子は秋田に来るか??
- ・ 東京で生まれ、育ち、働いた息子にとって秋田は…………
- ・ よって、20年後はもっとみじめな状態に陥る

ここに大きなキーがある

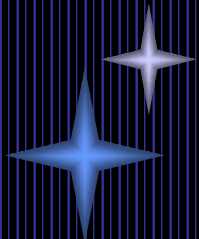


秋田で世代を継ぐ必要性

- ・ 秋田で働き、息子も秋田で育ち、息子にとっても「秋田はふるさと」となる順サイクルを回すことが、肝要

提言：

- ・ Aターンした人に秋田の嫁さんを世話する
- ・ 子育てしやすい環境にする
- ・ 学生時代に秋田の嫁さん候補者を探させる



20年後、30年後の秋田県は？

市役所と市民の皆さんへ もっと もっと 世界へ眼を向けましょう！ － 世界を歩いたビジネスマンからの提言 －

2011年2月頃から作成開始した資料 三浦が関与

2011年3月21日

世界を歩く
ビジネスマン
になるには

千田俊章



岩手県さんりく・大船渡ふるさと大使
ケセンきらめき大学 アドバイザー
株式会社シームレス通訳サービス 相談役

千田 俊章

©2011 Toshiaki Chida

三陸津波防災・博物館・研修館の設立 提言

55

「津波」の利用

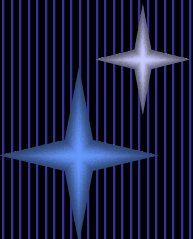
- *気仙には津波に関連する歴史や
対応してきた実績などが豊富
- *津波をはじめとする各種防災に関する
研修を幅広く行う
対象者は全国海岸部の自治体職員
小中学校の先生と生徒と世界の研究者

Tsunami: 世界の共通語

強み・弱みを知って 方策立案

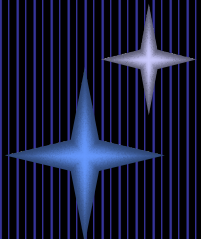


ベルギー
2005年



東日本大地震後の東北6県

- ・ 福島：原発の問題あり大変だが、全国から注目を浴び、行政の配慮もある
上手に動けば、50年後は良い街になる
- ・ 宮城・岩手・青森：復興のための行政の配慮もある。うまく復興サイクルを回せば、20年後には良い街になる
- ・ 山形・秋田：どうする？ 自力で……
黙っていれば、20年後は東北の中で寂れた県に陥る **<県としての方策を練るべき>**



人口減少について

元気のある気仙地域 まちづくりに向けた検証と提言

会場：大船渡市民文化会館リアスホール

主催：(株)東海新報社

平成21年10月16日

三浦が関与した資料

千田 俊章

さんりく・大船渡ふるさと大使
(株)シームレス通訳サービス相談役
三陸町綾里出身



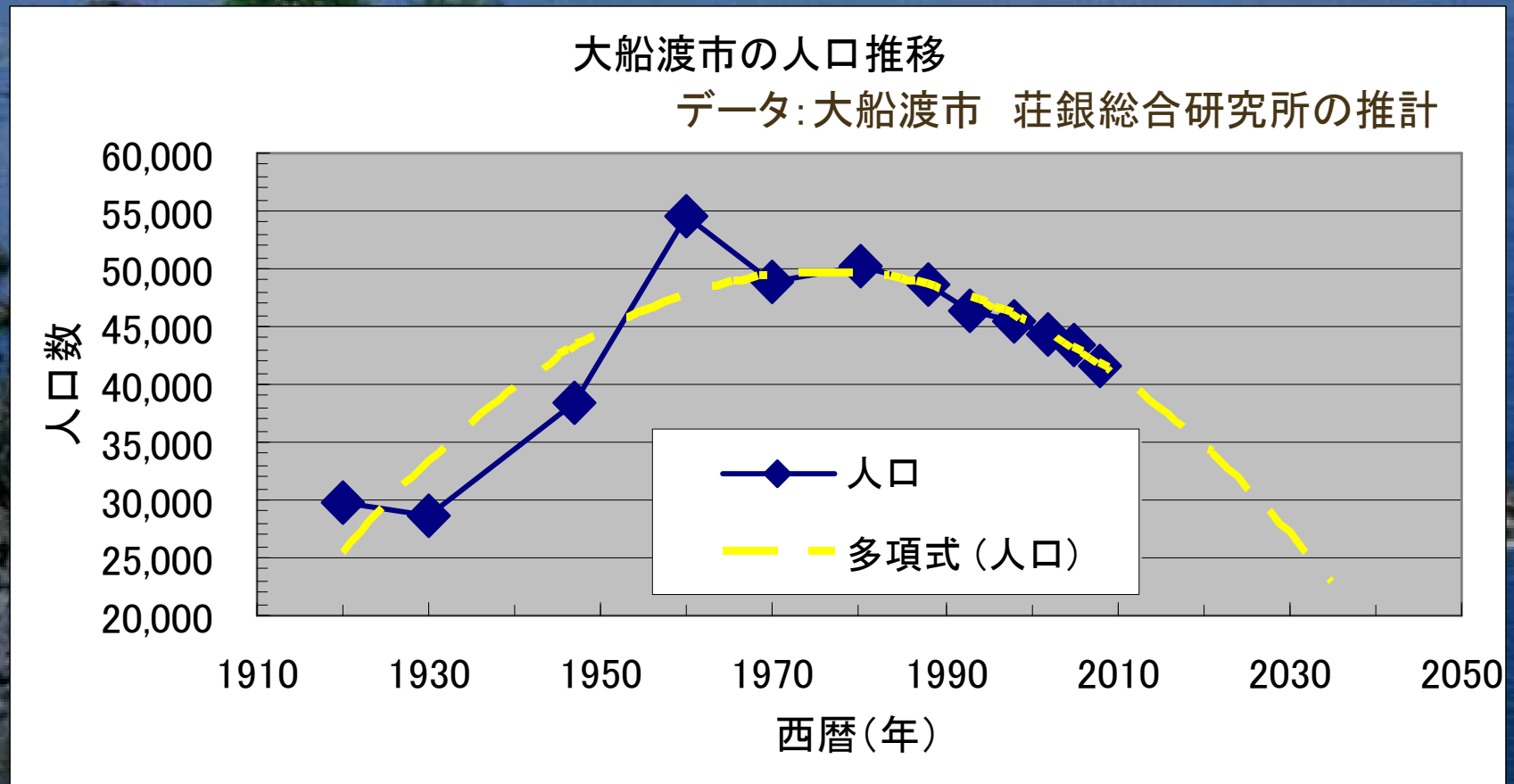
元気のある気仙地域まちづくりに向けた検証と提言

現実

検証

対策

気仙の人口減少と現実：1



過去の人口推移データから、**単純に数学的に**
傾向を見出すと、**黄色の点線カーブ**が得られる

元気のある気仙地域まちづくりに向けた検証と提言

現実

検証

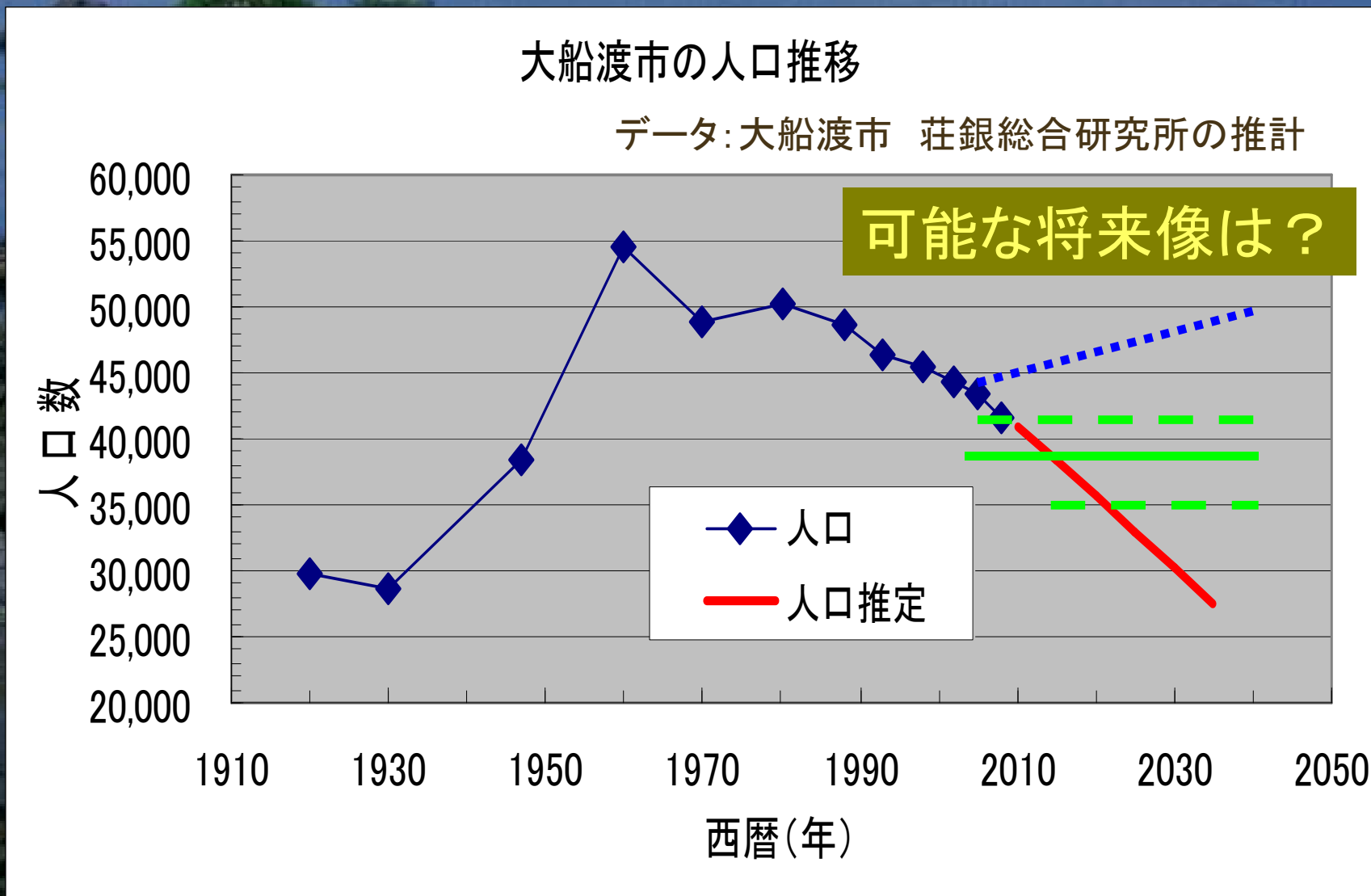
対策

5

気仙の人口減少と現実:2

大船渡市の人口推移

データ: 大船渡市 荘銀総合研究所の推計



狭い日本に1億2000万人の人口が
適切と言えるのか？

日本として適切な人口は？

そして、秋田県として住みよい街としての
適切な人口は？

その見込みを基に、方策を練る

その方策の中に、

秋田高専としての役割分担を見つける

簡単ですが

終

御清聴に感謝



作成: 2014-10-24